

【05】 お知らせ

- 「外国人からのよくある質問集（FAQ）」をリニューアル！
- 大阪府堺留学生会館オリオン寮春期入居者募集中！
- ワン・ワールド・フェスティバルにブース出展！

- ◆ 「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」
韓日版を作成しました。
- ◆ 「外国人のための防災ガイド」（地震編）の
越日版、比日版をご活用ください！

- ◇ 大阪府外国人情報コーナー
- ◇ バナー広告募集
- ◇ 賛助会員募集

【01】 年頭所感

安全・安心の国際都市をめざして

公益財団法人 大阪府国際交流財団 理事長 小高 将根
(高は はしごだか)

あけましておめでとうございます。

昨年は、当財団の事業にご協力、ご指導いただきありがとうございました。

さて昨年も、わが国は多くの自然災害に見舞われました。

熊本県、鳥取県で発生した地震、各地を襲った台風などにより、多くの被害が発生しました。改めて、犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、大阪が国際都市として、より一層発展していくためには、日本語の理解が十分でない外国人の方々がより安心して暮らしていける地域づくりが必要です。そのため、このような災害に関して日頃から多言語で十分な情報が得られること、また万が一災害が起こっても、多言語による情報提供等の支援体制をつくり、それらが実際に機能するよう、十分に準備しておくことが欠かせません。そのため、当財団では、日頃の多言語による外国人相談に加え、災害時に備えて、財団職員の対応能力向上、多言語による防災ガイドの作成、大阪府や各種関係団体との連携強化、支援にかかわる人材（災害ボランティア等）の育成などに取り組んでいます。また、大阪府と共同で、万が一大規模な災害が発生した場合、府内在住の外国人の方々に対する支援を円滑に行うため、「大阪府災害時多言語支援センター」の設置・運営マニュアルを作成しています。

ただ、災害は、いつ、どこで、どのような規模で起こるか予測が困難です。よってその対応は計画やマニュアルづくりに終始することなく、それらを基に、様々な状況を想定した実地訓練を地道に積み重ねていくこと、そして、そこから得られるものをフィードバックしていくことが重要です。このような認識の基に、当財団では、今月17日に実施する「大阪府災害時多言語支援センター運営訓練」をはじめ、今後も様々な取り組みを着実に進めていく所存です。

本年も皆様のご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。

【02】事業報告

■ 平成28年度大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業（安藤プログラム）

前号で紹介した、アジア8か国から来阪した8名の研修生は、10月20日に28日間のプログラムを終了し、無事帰国しました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

研修後半に実施した、府内建設会社4社（（株）大林組、（株）銭高組、（株）竹中工務店、大和ハウス工業（株））での10日間にわたる企業研修では、熱心なご指導のもと、建築・土木現場の視察や設計部でのデザインワーク等を体験することができました。また、安藤忠雄氏表敬訪問では、同氏からいただいた、今後アジアで活躍する若き建築家である研修生へのアドバイスに、大いに刺激を受けたようです。

今回の研修を通して、研修生からは「日本の芸術、建築、文化、生活習慣など様々な分野での理解を深めることができた」、「様々な国の人と、文化交流や建築デザインについて話し合えた」等の声が聞かれました。

〇〇 安藤プログラムを終えて 〇〇 ブラマニ トリプラネニさん（インド研修生）

2016年度の安藤プログラムに参加し、期間中の規律ある毎日は、私の人生に大きな影響を与えるできごとの連続でした。

都市計画や政策等を学んだ大阪府での研修は特に印象深く、私が現在大学院で取り組んでいる研究テーマ“都市郊外部の発展”についての知識を広げることができました。

さらに、安藤先生の建築物視察やアドバイスから、建築デザインの方角性に大きな影響を受けました。現在客員准教授として勤めるムンバイの大学では、デザインを専攻する学生に、環境を包括的に考慮し、文化に根づいたデザインをするように教えるようにもなりました。

インドに帰っても、緑茶や白米等の日本食を楽しんでいる私にとって、大阪での体験はもはや私の生活の一部となっています。

★ 外国人一日相談会 ★

***** 【市民向け相談会】 *****

■ 泉大津市役所「外国人のための一日なんでも相談」

実施日：10月13日（木）

■ 高石市役所「市民総合相談」

実施日：10月20日（木）

両市主催の司法書士等による市民向け相談会に、外国人相談ブースを特設し、英語と中国語の通訳者を配置しました。

■ 忠岡町「特設外国人相談コーナー」

実施日：11月13日（日）

忠岡町商工カーニバルの会場に、外国人相談コーナーを特設し、在留資格、労働、福祉、生活などの相談に対し、英語、中国語、インドネシア語の通訳者を配置しました。

■ 四條畷市「外国人のための相談会」

実施日：11月25日（金）

昨年度に続き、夕方の時間帯に開催し、行政書士、社会保険労務士、市人権協会相談員、市教育委員会学校教育課職員等が相談対応を行いました。英語、中国語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語の通訳者を配置しました。

■ 大東市「外国人一日相談会」

実施日：12月18日（日）

大東市国際交流フェスタと同時開催した本相談会は、弁護士、行政書士、社会保険労務士が相談対応を行いました。英語、中国語、ベトナム語の通訳者を配置しました。

★ 関係団体とのネットワーク ★

■ 第19回ふれあい交流祭り

実施日：11月23日（水・祝）

場 所：国際交流基金関西国際センター

このイベントは、関西国際センター研修生と地域の方々とのふれあいの場として、関西国際センター研修生交流支援協議会（岸和田以南の国際交流団体10団体及びOFIXで構成）が毎年開催しています。今年も研修生による自国紹介ブースが設けられました。

研修生モデルによる民族衣装のファッションショーが始まると、一気に会場は盛り上がり、各国際交流団体による日本文化体験コーナーでは、茶道、居合道体験などの多彩な催しが行われました。

地域の方々と研修生はなごやかに交流を深め、今年のお祭りも盛況のうちに幕を閉じました。

★ 留学生支援 ★ in オリオン寮（大阪府堺留学生会館）

■ オリオン寮避難訓練

実施日：11月26日（土）

参加者：オリオン寮生他33名

オリオン寮と近隣の大阪市立大学国際交流宿舎の寮生は、災害発生時に協力して避難できるよう、毎年合同で避難訓練を実施しています。

オリオン寮内での火災発生を想定した避難訓練の後、堺市北消防署による消火器の使い方についての消防指導、地域の災害時指定避難所とな

っている堺市立西百舌鳥小学校までのルートを歩いて確認しました。他にも地震発生時の対応や避難する際の注意点など、災害時の対応について学び、防災意識を深めた一日となりました。

■ オリオン寮地域交流会（ウインターパーティー）

実施日：12月10日（土）
参加者：オリオン寮生、近隣住民他 56名

オリオン寮では寮生と近隣の皆様の親睦を深めるために、年に2回、地域交流会を開催しています。今回の企画・運営を担当したチューターにレポートしてもらいました。

◎◎ 初 朝宜（しょ ちょうい）さん（中国）◎◎

来賓へのご挨拶や寮生への司会、ピアノ演奏の依頼をはじめ、景品等の購入、料理のセレクトと予約など、事前準備に注意を払い、参加者の方が普段とは違うスペシャルな一日を過ごしていただけるよう配慮しました。近隣の皆様が、準備などに協力してくださったことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

★ 災害時外国人支援（防災・災害時訓練）★

■ 堺市・OFIX 共催事業 「外国人住民のための防災講習会」

実施日：10月23日（日）
参加者：64名

堺市危機管理室の方による地震に関する講義の他、会場の堺市立熊野小学校（指定避難所）の備蓄コンテナや災害用トイレ、防災用品と非常持出品の展示を見学しました。

在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館等のご協力や、訓練の2日前に鳥取県中部地震が発生したこともあり、ベトナムの方を中心に多くの外国人市民に参加いただくことができました。

これをきっかけに、地域での災害時の自助・共助の輪が広がっていくことを大いに期待します。

■ （特活）とんだばやし国際交流協会・OFIX 共催事業 「外国人市民向け防災体験バスツアー 地震・防災を体験しよう！」

実施日：12月17日（土）
参加者：21名

午前中の学習会では、地震発生直後の避難行動等について、富田林市危機管理室の方からの講義を受けました。地震が起きたら、まず身を守る等の基本的なことの他、自動車での避難は絶対にしないようにと教えていただきました。

午後は大阪市立阿倍野防災センターを訪問し、バーチャル地震や初期消火、119番通報などを体験しました。参加者は改めて地震の怖さを知るとともに、学習会で学んだことを実際に体感することで、深い学びを得たようです。

2015年（5月1日現在）に日本で学ぶ外国人留学生は、前年比13.2%増の約20万8,000人で、大阪で学ぶ留学生も前年比12.5%増の約1万5,000人と増加しています（*1）。また、2015年に日本の大学で学んだ留学生のうち、在留資格を留学から就職に変更すると申請して認められた数は、2010年の約2倍の約1万6,000人に増加しています。同様に大阪の企業に就職する留学生数は2倍以上の約1,600人に増えています（*2）。

このような状況下、約1,200人の留学生が在籍する『エール学園』（大阪市）の西村氏に、同校の就職支援についてご寄稿いただきました。また、府内自治体・国際交流協会の事例として、箕面市国際交流協会の河合氏には、一緒に働いているインターンシップの留学生の現状について、堺市の奥氏には市内大学在籍・市内在住留学生等と市民の交流事業についてお書きいただきました。

*1（独）日本学生支援機構「平成27年度外国人留学生在籍状況調査」

*2 法務省入国管理局「平成27年における留学生の日本企業等への就職状況について」

- 人口減少時代に対応する多文化共生 留学生企業実習システム
学校法人エール学園 キャリア教育事業本部
キャリア支援室 室長 西村 康司氏

2016年2月26日の日本経済新聞の記事によると「2015年10月1日時点で外国人を含む日本の総人口は10年の前回調査に比べ94万7,305人減少した」と報じられておりました。人口減少局面にはっきり入ってきており、更に高齢者の人口が4人に1人という状況、ますます優秀な留学生が活躍する多文化共生社会を目指していく必要性を感じています。

エール学園では授業時間に合わせて基本的に3か月間（最長9か月）、週2回-3回の企業実習を通じて、日本の企業文化や社風に触れ、そこに留学生が持ち合わせている語学力、感性、祖国でのネットワークをフルに機能させ、(1)翻訳・通訳業務、マーケティングの市場調査や営業補助、(2)facebookやWeChatでの情報発信、(3)広報物、プレゼン資料の作成など、企業に貢献しながら、座学だけでは学べない事を身につけ、スタッフの皆様にも認められて、場合によっては採用されているシステムを提案しています。

このような企業実習を通じて内なる国際化を感じていただき、違う文化や価値観を持つ人たちとも力を合わせることで化学反応がおこり、新しいマーケットや商品が開発されていきます。

理事長の長谷川の言葉を借りれば「留学生は平和の使者」であり、そのような優秀な留学生が活躍できる環境を整えることが、わが国の未来のためであり、留学生が活躍できるネットワークの構築を産官学で取り組みたいと思っています。

- 地域をつくるインターン生
(公財)箕面市国際交流協会 事業課長 河合 大輔氏

箕面市国際交流協会では、毎年、インターン生（5名程度、1年間）を受け入れています。日本の職場や地域で働く経験を提供し、同時に若くて柔軟、かつ異文化を背景にして生まれる新鮮な発想を地域づくりに活かしてもらうことを期待して行っているものです。

活動内容は様々で、「留学生による留学生のための企画」として「日本のスーパーの食材の使い方を教えてもらう料理教室」や「先輩留学生がおすすめる関西の穴場スポット紹介」といった企画を立案・実施したり、また留学生コミュニティと地域団体とのつながりを生み出したり、と活躍しています。

留学生からは「日本人の友だちがいない」といった声もよく聞きます。スタッフやボランティアの方といっしょに働くことは、日本の文化や地域を知るよい機会になっているようです。

近年は留学生に限らず、日本人学生や大学生以外の外国にルーツを持つ若者も受け入れています。世代や経験、文化などインターン生の背景が多様化したことで、受入スタッフの苦労も増える一方、対応力も鍛えられます。

共生社会に向けた地域づくりをとともに担うメンバーとして、インターン生に大いに期待しています。

● 堺市における留学生交流事業の取り組み

堺市文化観光局 国際部 国際課 奥 達寛氏

堺市では、堺市、堺市内及び隣接する市内の7大学、大阪府国際交流財団で実行委員会を構成し、留学生と市民の交流を通じ、留学生の生活支援や市民の国際理解の増進を目的とし、事業を展開しています。主な取り組みとして、市民と留学生の交流を促進する事業や留学生を市内の学校へゲストティーチャーとして派遣する留学生派遣事業を行っています。

今年度は、地域のだんじり祭りの見学及び関係者との交流会、堺市の歴史・文化資源のひとつである寺院での宿坊宿泊体験と茶の湯文化に関する観光ツアー、さらに地域の日本人家庭を日帰りで訪問するホームビジットとホストファミリーとの交流会を行いました。また、留学生派遣も市内小学校にて3回実施し、2月には中学校、高校への派遣も予定しています。

各事業に参加した留学生、地域住民等からは好評を得ており、今後も留学生の住みよい街づくりを推進していきます。

【参考】留学生に関する実態調査：市内大学在学及び市内在住の留学生
ならびに本市に隣接する各大学の留学生 939名
(平成28年5月1日現在)

【04】 Topics

◆ OFIX ホームページ バナー広告募集中！

昨年12月より、OFIX ホームページ バナー広告の募集を開始しました。1枠1か月10,000円(税別)と、リーズナブルな料金で、企業・団体様の広告掲載を募集中です。

詳しくはこちら⇒<http://www.ofix.or.jp/banner.html>

【05】 お知らせ

- 「外国人からのよくある質問集 (FAQ)」をリニューアル!

OFIX ホームページに掲載の「外国人からのよくある質問集 (FAQ)」について、全てのFAQを9言語で対応するなど外国人住民の方々により役立つ内容にリニューアルしました。FAQは、大阪府外国人情報コーナーに多く寄せられる質問とその回答をまとめ、9言語で掲載しています。

内容: 「出入国」「国際・結婚」「医療・福祉」「労働・仕事」「事件・事故」「教育」「暮らし」「住まい」の8項目の質問と回答 (94件)

対応言語: 9言語 (英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、日本語)

<http://www.ofix.or.jp/life/jpn/faq/index.html> (日本語)

- 大阪府堺留学生会館オリオン寮春期入居者募集中!

OFIXが運営する「大阪府堺留学生会館オリオン寮」では、4月からの入居者を募集しています。

詳しくはこちら⇒<http://www.ofix.or.jp/accept/support/orion.html>

- ワン・ワールド・フェスティバルにブース出展!

西日本最大の国際協力・交流のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」が今年も開催されます。OFIXは、北区民センターにブースを出展します!

日時: 2月4日(土)・5日(日) 10時-17時

場所: カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

詳しくはこちら⇒<http://www.interpeople.or.jp/owf/>

- ◆ 「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」韓日版を作成しました。

ボランティア研修時のテキストとして活用する「なるほどガイド」の韓日版を新たに作成し、英日版、中日版も改訂しました。

ダウンロードはこちら⇒<http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/disaster.html>

- ◆ 「外国人のための防災ガイド」(地震編)の越日版、比日版をご活用ください!

大阪府国際課では、多言語(英日、中日、韓日版)による「外国人のための防災ガイド」(地震編)に加え、新たにベトナム語/日本語併記版、フィリピン語/日本語併記版を作成しました。本冊子は在住外国人の方に利用していただく他、市町村等において在住外国人向けに防災ガイドを作成する際のモデル版として活用していただくよう作成したものです。

ダウンロードはこちら⇒<http://www.ofix.or.jp/accept/earthquake.html>

(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)
相談時間 9時-17時30分(月-金 ※祝日除く)
休憩(12時15分-13時)
専用電話 06-6941-2297
相談言語 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語
スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語
E-mail jouhou-c@ofix.or.jp

=====

≫≫ OFIX ホームページ バナー広告募集中！
⇒ <http://www.ofix.or.jp/banner.html>

≫≫ OFIX の賛助会員になりませんか？
法人 1 □ 年額 100,000 円 個人 1 □ 年額 3,000 円
⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

● 次回 OFIX ニュース(第 82 号)は、4 月 15 日発行 (予定)

=====

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO(Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を
紹介するメールマガジンです！
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★
※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します
⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>
※OFIX ボランティアの登録制度のご紹介
⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>
※ご寄付のお願い
⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/donation.html>

=====

≫≫ OFIX ニュースについてのご意見、ご感想はこちら
⇒ E-mail info@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら
⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/register_j.html

≫≫ 「OFIX ニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。
⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail_japanese_no81.pdf

≫≫ バックナンバー
⇒ <http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/index.html>

=====

☆☆
発行：(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)
〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか 5 階
TEL 06(6966)2400 FAX 06(6966)2401
☆☆